

令和7年度

事業計画書

公益財団法人 えどがわ環境財団

目 次

第 1 概要

I	はじめに	2
II	運営方針と重点項目	3
III	事業体系	6

第 2 機構と組織

I	財団の機構	7
II	事務局組織	8
III	職員数	8
IV	施設概要	8

第 3 事業計画内容

I	公益目的事業	9
1	水と緑・花の環境創造	
2	動物とのふれあい及び教育普及	
II	収益事業	17
1	サービス事業収益	

第1 概要

I. はじめに

デジタル技術の進歩は私たちの暮らしの利便性を高め、あらゆる世代に普及し活用されており、情報伝達のスピードもますます高まっています。一方で、世の中の変化や多様化する価値観の中、仕事や暮らしにストレスや不安を感じる方が多くなっている面もあるようです。

これからは「心身ともに健康で文化的な生活を送る」ために、日々の暮らしの中に沢山の喜びや感動を取り入れていくことが大切であり、ここにこそ、えどがわ環境財団の担うべき役割と意義があると考えます。

新年度の重点事業として、水と緑・花の環境創造においては、「江戸川区みどりの基本計画」に則り、これまで築き上げてきた、みどりのまちづくりを継承するとともに、区民が一層わがまちに愛着と誇りをもって活躍できる取り組みを広げてまいります。

「ウエルカムガーデン」や「環境学習」は、みどり部門の基幹事業です。特に、学校の花壇等で楽しみながら植物を育てる活動は、人として必要な豊かな情緒を育むものであり、まちを大切に思う気持ちにつながります。今年度も財団のノウハウを存分に活かして力強く進めてまいります。

「ひまわりで元気プロジェクト」は、保育園などに種を送り、子ども達にひまわりを育てていただく事業と合わせて、夏の期間、水やりと手入れをしていただける事業者に財団が用意したひまわりを直接貸し出し支援するものです。今年度はさらに事業者と施設数を増やし、区民の皆さんに大いに楽しんでいただきながら、江戸川の夏の風物詩として定着させていきます。

次に動物とのふれあい及び教育普及事業です。自然動物園は、ウエルカムバードなど展示方法を工夫するとともに、SNSによる情報発信に努め、区民の皆さんにより愛される動物園を目指してまいります。

モルモットやウサギなどの小動物に直接触ることができる「ふれあいコーナー」は、当動物園の基本コンセプト事業です。コロナ後の運営としてこれまでは平日に限り試験的に実施してまいりましたが、今年度からは土日もあわせて開催し、動物とのふれあいを更に充実させてまいります。

ポニーランドの「障害者乗馬」は4年目を迎え、参加されたご家族から「明るくなった」「体がしっかりしてきた」など、たくさんの喜びの感想をいただいております。馬には人の心と体を癒す力があります。今年度も財団が誇る事業として一層充実してまいります。

「小学校への生活科出張授業」は、たくさんの動物を持つ本区の特徴的な取り組みです。今年度も多くの学校に活用していただくよう連携を強化してまいります。

これからも当財団は、江戸川区が目指す「SDGsの推進と共生社会の実現」を活動の基本に据え、区民生活に安らぎと潤いをもたらすために充実した事業を展開してまいります。

Ⅱ 運営方針と重点項目

《運営方針》

これまで、当財団は公益法人制度の主旨に則り、公益的な自然環境分野の役割を担う団体として、江戸川区みどりの将来像でもある「水・緑・農、ともに生きる豊かな暮らし」の実現に向け、我がまちを誇りに思い、愛着が持てるようにするための公益的取組を進めてきました。公益法人制度が変わる令和7年度からも、多様化する社会のニーズに対応するため、区はもちろん地域や学校、企業などの機関や団体等との連携をさらに強め、本区の環境創造の担い手として、真に社会に必要とされる公益法人運営を確立してまいります。

1 公益目的事業の取組の発展・充実

(1) 公益目的事業1「水と緑・花の環境創造」

水と緑・花を介した公益的取組は「区民との美しい環境づくり」と「シティプロモーション」事業の二本柱を中心とした活動です。

「区民との美しい環境づくり」では、これまでも学校や地域住民と連携し、児童・生徒、区民に対して緑の保全や花や生き物を愛する心を伝えてきました。

令和6年度には新しい試みとして特別支援学級の児童にも授業を行い、たねダンゴをつくって植える体験をしてもらいました。

また、環境をよくする協議会などで、環境学習や寄せ植え体験などを実施し、地域住民の方々にも実践的な活動支援を行いました。

シティプロモーション事業では「ひまわり de 元気と笑顔のプロジェクト」、「区内の花の名所PR」などに取り組んできました。

昨年度は、これまでのやり方を一新し、地域の事業者や施設管理事業者の協力を得て、ひまわりのプランターを駅や区の施設に設置し育てていただきました。その結果、利用者の方々に夏の風物詩として好評を得ることができました。

令和7年度は、これまでの経験を活かし、これらの事業をさらに推進させていきます。

また、区民の大切な「緑資源」でもある農地の利活用と保全を追求する「花工房の運営」を登録制の区民ボランティア(花とみどりの応援団)と協働で手掛けるなど、みどりに興味を持ち、大切に作る区民を一人でも多く増やす活動にも一層力を注いでまいります。

鹿骨花工房の運営は3年目を迎え、果樹の収穫が期待できる時機に差し掛かってきました。そこで収穫物を活用した新しい試みに取り組んでいきます。

これらの事業は、区民の誰もが豊かな心を育む質の高い暮らしの実現に繋げるための取組です。これまでの活動をさらにステップアップし、区の「SDGs 達成＝共生社会の実現」を目指し、区民とともに進み続けます。

事業の各項目における主な計画は以下のとおりです。

① 区民との美しい花と緑の環境づくり協働事業

- ウェルカムガーデンの活動の推進
- 花とみどりの環境学習（花育を含む）

学校の児童・生徒や地域住民とともに、みどりの大切さや連帯感を育む環境学習を推進します。

令和6年度は船堀小学校の特別支援学級の児童に環境学習を行うなど、花や緑の持つ効能を活かした園芸福祉の促進・支援活動を行いました。

令和7年度に向けた取り組みとして、篠崎中学校のチャレンジクラス（継続的登校が難しい不登校の生徒のクラス）を対象に、花苗の植付けと栽培を通じて学校への愛着を築くための活動を実施します。

小学校での授業においては、環境教育冊子「花とみどりと私たち」を使った環境学習（出張啓発事業）を展開し、「たねダンゴ」などの手法を使い、楽しみながら身近な花や緑の栽培体験をする機会を提供し、児童生徒の自然環境に対する意識を高めています。

- 緑化推進PR

花とみどりの啓発ボランティア「花とみどりの応援団」とともに、「花とみどりの啓発キャラバン」を開催し、暮らしに溶け込む花や緑の大切さを啓発することで、江戸川区が進めるSDGsの達成と共生社会の実現を目指します。

- 区民と協働で進める花工房の運営

「花とみどりの応援団」と協働して、緑化啓発用の草花・苗木を育て、活用することで、みどりの愛護意識の育成や地域コミュニティの醸成を図ります。

また、区の緑資源である農地保全に係る取組の一端を担います。令和7年度は鹿骨花工房運営開始3年目を迎え、果樹の収穫が期待できます。そこで、小学生を対象とした果樹の育て方教室（収穫体験含む）を実施します。

- 緑の3R（リサイクル・リユース・リデュース）の推進

家庭で植物の栽培に使用し、不用になった園芸土やプランター・鉢をお預かりし、再利用します。また、落ち葉を使った腐葉土づくりを研究するなど、緑のもったいない運動の促進と環境保全を図ります。

② 水と緑・花のシティプロモーション事業

- 「水と緑、花のまち えどがわ」プロモーション活動

我がまちへの愛着や誇りを抱く「シビックプライド」と「江戸川区ファン」を増やす取組として、JRと連携した「駅からハイキング」の開催や、専門学校生の協力を得て区内の花の名所のポスターを制作し、区民施設や主要駅等で紹介するなど、江戸川区の魅力を内外へ発信します。また、都立葛西臨海公園とはこれからも共に良きパートナーとして、公園愛護イベント（水仙まつり等）の参加・協力を積極的に行います。

(2) 公益目的事業 2 「動物とのふれあい及び教育普及」

動物とのふれあいを通じて児童・青少年の心身の成長を促進するための多様な実体験を提供する事業を展開しています。

この事業では、子どもたちが動物と直接触れ合うことで動物への理解や愛情を深めるとともに、責任感や共感力を育むことを目指しています。

さらに、動物との交流を通じて、ストレスの軽減や情緒の安定を図り、健全な心身の発達をサポートします。

具体的には、動物とのふれあい体験プログラムや、動物の世話を通じた教育活動、動物に関するワークショップやセミナーなど、多岐にわたる活動を実施しています。これらの活動を通じて、子どもたちが多様な実体験を積み重ね、豊かな感性と健全な心身を育むことを目指しています。

また、動物とのふれあいを通じて、子どもたちがコミュニケーション能力やチームワークを学び、社会性を身につける機会を提供します。これにより、子どもたちは将来の社会生活においても役立つスキルを身につけることができます。

① 動物の飼育及びふれあい事業

○自然動物園の展示・ふれあい事業

動物に直接触れることのできる「ふれあいコーナー」を実施し、併せて動物の役割等を学べる機会を提供します。また、各イベント会場等に出向き小動物を中心とした移動ふれあいコーナーを開設し、動物愛護の心を育てます。

○ポニー乗馬・馬車・ふれあい事業

ポニー乗馬及び馬車を運営し、多世代の交流・共生の場の提供、併せて「命の大切さ」を伝える情操教育の場を提供します。

○障害者乗馬事業

障害の有無にかかわらず、誰もが馬に親しめる環境を進めていくため障害者体験乗馬教室を実施します。

○ポニーランドの出張乗馬

区内各地域で開催されるイベント会場・区内公園等において移動ポニーを実施し動物への愛護心を育てます。

② 教育普及事業

○動物出張授業

学校や保育園などに出向き、動物を持ち込んでふれあい体験を行うことで命の大切さや思いやりの心を育みます。さらに、学校教育との連携による小学校の生活科授業などを通じて、教育普及活動を推進します。

○小学校飼育動物の飼育指導

小動物を飼育する小学校へ直接出向き、児童等に適切なアドバイスを行い飼育に関する意識と知識を育てます。

2 財務基盤の確立

○収益事業による公益財源の確保及び効果的な活用

- ・ 現行の物品販売サービスの見直しや財団ホームページへの広告掲載等積極的な協力依頼を行い、収益力の向上に取組み、公益財源の確保に努めます。

3 組織体制の強化

○人材の有効活用

- ・ 「環境創造」団体の職員としての専門性や基本スキルの向上に努めます。
- ・ 公益財団法人としてコンプライアンス（法令遵守）の強化に取組みます。

Ⅲ 事業体系

<令和7年度>

I 公益目的事業

1 水と緑・花の環境創造

(1) 区民との美しい花と緑の環境づくり協働事業

(2) 水と緑・花のシティプロモーション事業

2 動物とのふれあい及び教育普及

(1) 動物の飼育及びふれあい事業

(2) 種の保全・調査研究事業

(3) 教育普及事業

II 収益事業

1 サービス事業収益

(1) 物品販売サービス

(2) 広告・協賛収入

第2 機構と組織

I 財団の機構

財団の機構は、公益財団法人として定款に定められた役員および評議員を選任し、理事会及び評議員会を組織して運営しています。

【役員】

理事：5名

理事長は、代表理事としてこの法人を代表し、その業務を執行する。

専務理事及び常務理事は、業務執行理事として理事長を補佐し、この法人の業務を分担執行する。

監事：2名

この法人の業務並びに財産及び会計の状況の監査等定款第33条に規定する職務を行う。

【理事会】

すべての理事をもって構成し、業務執行の決定、規程の制定及び改廃、その他財団の運営に関する事項の決定等法令や定款で定められた職務を行う。

【評議員】

7名

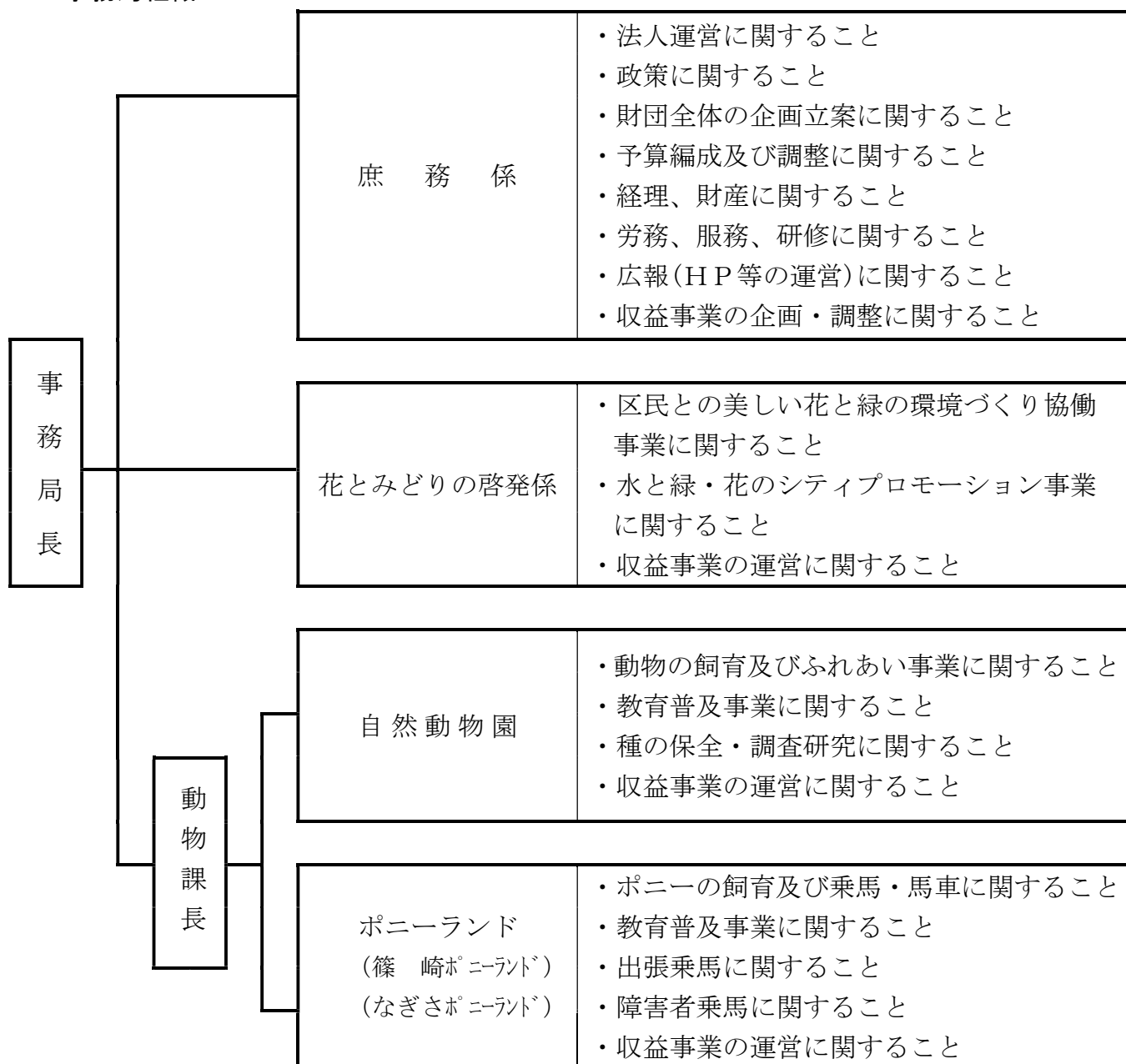
評議員会会長、評議員会副会長を、それぞれ1名置き、評議員会会長は、評議員会の議事を整理する。

評議員会副会長は、評議員会会長を補佐し、評議員会会長に事故があるとき、又は評議員会会長が欠けたとき、評議員会会長の職務を代行する。

【評議員会】

すべての評議員をもって構成し、理事及び監事の選任又は解任、役員に対する報酬等の額、貸借対照表及び損益計算書の承認、定款の変更等法令又はこの定款で定められた事項を決議する。

Ⅱ 事務局組織



Ⅲ 職員数(人)

令和7年4月1日

固有職員			区派遣職員	合 計
職員	再任用	計		
43	10	53	4	57

Ⅳ 施設概要

名 称	所在地	面積 (㎡)	休園日	備 考
自然動物園	北葛西3-2-1	4,900.00	月曜日	動物:58種 610点
篠崎ポニーランド	篠崎町3-12-17	14,937.26	月曜日	ポニー10頭
なぎさポニーランド	南葛西7-3	5,000.00	月曜日	ポニー8頭

第3 事業計画内容

I 公益目的事業

1 水と緑・花の環境創造

(1) 区民との美しい花と緑の環境づくり協働事業

予算額：【2,283 千円】

(自主財源 412 千円を充当)

(区補助 1,871 千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

江戸川区の「水と緑の環境」の価値をさらに高めるとともに、区民の我がまちに対する「誇り・愛着」「ゆたかな心」を育む啓発活動の取組を推進し、花や緑が溢れる共生社会づくりを目指します。

内 容	
1) ウェルカムガーデンの活動の推進	住民と一体となって、身近なみどりの大切さや育てる楽しみを育む活動の支援と普及・啓発活動の拡大を図ります。また、町会・自治会はもとより、福祉・子育て施設などと連携し、花やみどりを通した「地域の見守り」、「園芸福祉」の活動につなげます。 令和7年度は篠崎中学校のチャレンジクラス（継続的登校が難しい不登校の生徒）のクラスの生徒を対象に、学校への愛着を育むため、生徒が学校で花を育てる活動を行います。 【場 所】区内小・中学校の花壇、町会・自治会、商店会、福祉・子育て施設ほか 【対 象】すすくすくスクール等の児童・生徒・学校応援団、地域住民 【内 容】草花・苗木の提供、花壇整備、環境学習、活動相談（アドバイス）
2) 花とみどりの環境学習	区の緑化の経緯や、未来に向けた自然溢れる豊かなまちづくりへの取組を児童・生徒に伝えます。北小岩小学校では日本の文化に関係の深い「桜」、とりわけ同校で発見された新種の「北小岩桜」を教材に利用し、身近な自然環境を学び、共生社会(生物多様性)の理解を深める活動につなげていきます。 【会 場】区内の小学校ほか 【対 象】主に小学3年生以上の児童・生徒 【内 容】みどりのまちづくりの歴史や花と緑の大切さや育て方などを財団職員が環境教育冊子「花とみどりと私たち」を活用し、環境学習（「花育」を含む）を行います。 【その他】出張講座の実施 (出張対象：町会・自治会、商店会、図書館・福祉施設、等)
3) 緑化推進PR	身近な自然環境（水と緑、花）の大切さを、当財団のボランティア「花とみどりの応援団」とともに、公園や広場、イベントなどで啓発活動を展開する「花とみどりの啓発キャラバン」を実施します。

親子連れや学校から帰った小学生を対象にゲームや花の種子袋を配布するなど、啓発活動を行います。今後は、より集客数を上げられるよう利用者の多い公園を絞り込み、固定化しながら、より魅力的なコンテンツを提供していきます。

【花とみどりの応援団との活動】 登録者数：154名（令和6年12月末現在）

① 花とみどりの啓発キャラバン

【場 所】公園・児童遊園など（月1回程度） ※移動ポニーランドとも連携

② イベントへの参加

【対 象】花の祭典（5月）、環境フェア・小岩菖蒲園まつり（6月）、
区民まつり（10月）、秋の葛西臨海公園フェスティバル（11月）
水仙まつり（2月）など

【①②の主な内容】活動相談、苗木や種子袋の配布、草花の寄せ植え体験、草花展示即売、
花の名所紹介、リユース鉢や再生用土の啓発活動他

③ ひまわり de 元気と笑顔プロジェクト

【内 容】○種子袋の配布：区内の児童・福祉施設（約500箇所）

・配布期間：令和6年4月下旬～5月中旬

・配布先：配布可能な施設から順次

・配布数：2,000袋（1施設あたり2袋程度）

○ひまわり展示：財団が育てたひまわりを植えたプランターを事業者や
企業に直接貸し出し、手入れや水やりの指導を行います。

・区施設全24か所、JR平井駅前、都営地下鉄船堀駅前他

・展示期間：令和6年7月上旬～9月下旬

・栽培規模：サンフィニティ250株（プランター約100基制作）

※「花とみどりの応援団」は、鹿骨花工房において、摘心作業や水やり
など展示するまでのひまわりの育成作業を行っています。

4) 区民と協働で進める花工房の運営

区民と協働で緑化啓発用の草花・苗木を育て、みどりの愛護意識の育成と地域コミュニティの醸成を図ります。

【施設概要】・鹿骨第一花工房（鹿骨1-49） 面積：523㎡（生産緑地貸借）

・鹿骨第二花工房（鹿骨1-41） 面積：501㎡（同上）

・平井わかばと花工房（平井6-1-17）面積：743㎡（平井わかばと公園隣）

【主な内容】・花の手入れとボランティア人材の育成活動を行う。

（日常の水やり、枯れ花（草）取り、剪定、等）

・花と緑を楽しむ体験プログラムの実施。

（園芸教室、ガーデナー育成、腐葉土づくり等）

・果樹の収穫、成果物を活用した啓発イベントを展開。併せて小学生を対象とした果樹の育て方教室（収穫体験含む）を実施。

（果樹例：ブルーベリー、レモン、ライム、イチヂク、ぶどう他）

・令和7年度より「ホップ」の栽培方法の研究を開始します。

5) 緑の3R（リサイクル・リユース・リデュース）の推進

家庭で不要になった園芸土や鉢を回収し再利用する活動は、当財団でしか行っていません。そのため好評を得ており毎年利用者が増えています。

今後もこの活動を継続するとともに、落ち葉を使った腐葉土づくりの取組みも広がっていきます。

(2) 水と緑・花のシティプロモーション事業

予算額：【1,002 千円】

(自主財源 300 千円を充当)

(区補助 702 千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

花や緑、水辺環境の愛護心の啓発に努めるとともに、区民の我がまちへの愛着や誇りを抱く取組みを行い、「水と緑・花のまちえどがわ」を区内外へ発信します。

内 容

1) 「水と緑、花のまち えどがわ」プロモーション活動

① 花の名所ポスター制作・掲示による主要駅や施設等での紹介（桜・ツツジ・花菖蒲）

※デザインは区内専門学校（TCA）との共同制作で、花の見頃に合わせ区内各所に掲示

② インターネット（SNS）を使った情報発信

・web版「ぶらり“えどがわ”桜旅」ガイド及び「えどがわツーリズム」の配信

・区民からの「みんなの花とみどりのアルバム」投稿の配信

2) 「駅からハイキング」の実施

JR東日本主催の「駅からハイキング」事業と連携し、区内のJR駅を起点とする「水と緑、花のまち えどがわ」の魅力が満喫できるウォーキングイベントを実施し、江戸川区の魅力と自然を区内外の多くの方へPRします。

＜小岩駅コース＞

【開催日】 令和7年6月7日（土）～15日（日）の9日間（予定）

【コース名】 ぶらり小岩 下町情緒と花菖蒲の名所を訪ねる（仮称）

＜葛西臨海公園駅コース＞

【開催日】 令和8年3月21日（土）～29日（日）の9日間（予定）

【コース名】 さくら♪さくら♪ぶらりえどがわ お花見ウォーク（仮称）

2 動物とのふれあい及び教育普及

(1) 動物の飼育及びふれあい事業

予算額：【119,737 千円】

(区委託料 119,737 千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

動物とのふれあいを中心に魅力的な展示を行うための展示計画を策定し、国内の動物施設等と連携して動物の交換・貸借の調整や動物収集等を行います。また、多様な動物の保全に努めるとともに、動物との出会いを通じて感動や喜び安らぎを提供します。

内 容	
1) 自然動物園の展示・ふれあい業務	誰もが安全に、身近に楽しく動物を見学できるよう、日々展示の工夫を行います。「動物にも優しい動物園」を目指し動物福祉を重視した適切な飼育環境に努めます。 また、ふれあいコーナーでは、ウサギやモルモットなどの小動物に直接触れたり、抱いたりすることで、優しい心の育成や命の大切さを感じる場を提供します。 【開催日】 動物園のふれあいコーナー：毎週水曜日～日曜日（1日4回） ※小学校出張授業と重なった日、及び7月～9月は高温が予想されるため中止
2) 自然動物園の出張動物	区内各地域で開催される区民まつりや地域のイベント等に小動物を中心とした「移動ふれあいコーナー」を開設します。動物とのふれあいの機会を提供することにより、動物への愛護心を育てます。 【出張回数】 7回程度
3) ポニー乗馬・馬車体験	両ポニーランドでは小学生までのお子さんを対象にポニー乗馬を、篠崎ポニーランドではご家族で楽しめる馬車を運行し、馬との出会いを通じて感動や喜び、安らぎを提供します。 ① ポニー乗馬 ≪篠崎ポニーランド・なぎさポニーランド≫ 【開催日】 通年 【対 象】 小学生以下 ② 馬 車 ≪篠崎ポニーランド≫ 【開催日】 土日祝 【対 象】 制限なし ※7月15日～9月15日は高温が予想されるため午後の運営は中止。
4) ふれあいコーナーの運営	≪篠崎ポニーランド・なぎさポニーランド≫ 馬にふれあい、家畜としての役割、命の大切さ等を学べる機会を提供します。 【開催日】 通年 【対 象】 制限なし
5) ポニーランドの出張乗馬	区内各地域で開催される区民まつりや地域のイベント等にポニーコーナーを開設して出張乗馬を行います。また、公園等において移動ポニーランドを開設して、出張乗馬を行い、馬とのふれあいを通じ、感動や喜び、安らぎを提供します。 【地域イベント】（8回程度）、【移動ポニーランド】（随時）

(2) 種の保全・調査研究事業

予算額：【187 千円】

(区委託料 187 千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

動物の生態系保全に貢献することを目的に、自然動物園で保有する動物の生態等の調査研究や絶滅危惧種や、希少種等の保全のための取組みを、関係機関や大学等と連携し行います。また、その成果を広く来園者等に周知します。

内 容
1) 種の保全業務 親から子、さらに孫へと飼育を続け、その種を継続的に管理します。 シロビタイムジオウム・フンボルトペンギン・ワタボウシタマリン・ホウシャガメ (CITES I 類)・オタリア・オオアリクイ (国内血統登録種)、クロツラヘラサギなど ※CITES：ワシントン条約
2) 調査研究業務 科学的根拠に基づいた調査研究を動物福祉に配慮しながら進めていきます。 フンボルトペンギンのデータロガーによる行動調査と糞中コルチコステロンによる ストレス評価

(3) 教育普及事業

予算額：【669 千円】

(区委託料 669 千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

動物の生態を身近に観察し学ぶことにより、生命の尊さや地球環境の重要性を感じる体験の場を提供します。また、学校教育との連携による小学校での生活科授業や、特別支援学校への小動物、ポニーのふれあい出張事業等を実施します。

内 容
1) ふれあい体験教室・講座講習会の開催 【自然動物園】 ① ヒツジの毛刈りショー 羊の毛刈り・子ども達の毛刈り体験・クイズ・パネル展示等を行います。 【開催日】 5 月 (1 回) ② サマースクール 子ども達に動物舎の清掃や給餌等、飼育係の仕事の一部を体験してもらうとともに、飼育係と獣医師が動物の生態・健康診断・治療についての話を行います。 【開催日】 7 月 (4 回) 【対 象】 区内小学 3 年～6 年生

③ 親子一日飼育体験教室

親子で協力して飼育作業を行うプログラムを企画として、動物のエサやり体験や動物の健康診断・爬虫類に関する講義等を行い、動物についての知識を得られる内容とします。

【開催日】 9月（4回）

【対 象】 区内小学1、2年生とその保護者

④ 動物園のうらがわ探検

普段は見るできない動物舎や診療室、調理室、飼料庫等のバックヤード見学（裏側見学）を行い、動物園全体を理解しやすいように解説します。

【開催日】 6月・11月（全2回）【対 象】 小学生以上

⑤ 飼育係、獣医師のおはなし

野生での状況や図鑑等では学べないこと等を、飼育員や獣医師が展示場の前で解説を行います。また、おはなしスタンプラリーなど、楽しみながら学べるプログラムを開催します。

【開催日】 随時（土・日、祝休日で開催）

⑥ もぐもぐタイム

飼育係が展示場で動物にエサを与え、食べる姿を見ながら解説することにより、動物への理解や親しみを深める機会を提供します。

【開催日】 随時

⑦ 動物出張授業

＜小学校出張授業＞

小学校1・2年生の生活科授業へ出張し、動物の飼育体験等を通じ、生き物と直接ふれあい、生命の大切さや思いやりの心を育てる学びの機会を提供します。

【対 象】 区内小学校（30校程度予定）

＜小学校飼育動物の飼育指導＞

ウサギ等の小動物を飼育している小学校へ出張し、生徒等に適正な飼育管理のアドバイスをを行うとともに、責任を持って生き物を飼うという意識を育てます。

【開催日】 不定期

【対 象】 区内小学校（1校程度）

＜出張講座＞

図書館等の施設に出向き、動物の生態や動物園での飼育の工夫、エピソード等を交えた楽しく学べる講演を行います。また、ウサギ・モルモット・チャボとのふれあいも行います。

【開催日】 不定期

【会 場】 図書館・子ども未来館等区内施設

＜特別支援学校へ出張事業＞

都立鹿本学園への小動物のふれあい出張を行い、ふれあいを通じて動物への興味や関心・動物愛護の精神と豊かな心情を育む機会を提供します。

【開催日】 12月 第一火曜日・木曜日(予定) 【対 象】 全校児童、生徒

【ポニーランド】

篠崎ポニーランドの創立 50 周年を記念して、歴史を振り返るイベントやパラ乗馬・障害馬術競技体験会を 11 月に実施します。

① 子ども乗馬教室 《なぎさポニーランド》

乗馬の体験を通して感動や喜びを提供し、動物への愛着を高め情操教育の機会を作ります。

＜子ども乗馬体験会＞

【開催日】 5・10月（各月2回） 【対 象】 小学1年～6年生

＜子ども乗馬スクール＞

【開催日】 年4クール（4回） 【対 象】 小学1年～6年生

② 小学生飼育体験 《なぎさポニーランド》

ポニーのお世話を通して生態や飼育法を学び、動物への愛着を高め情操教育の機会をつくります。

＜飼育体験会＞

【開催日】 7月（4回） 【対 象】 小学4年～6年生

【開催日】 8月（4回） 【対 象】 小学1年～3年生とその保護者

【開催日】 12月（5回） 【対 象】 小学1年～6年生とその保護者

③ 障害者乗馬 《篠崎ポニーランド》

障害のある児童に馬と接していただき、ふれあいや乗馬体験を通じて、感動や喜びを提供します。

＜障害者乗馬スクール（ばかばかスクール）＞

【開催日】 年3クール 【対 象】 障害のある小学1年～6年生

＜障害者乗馬体験会＞

【開催日】 4・8・12月（各月2回）

【対 象】 子どもコース障害のある小学1年～6年生

【開催日】 4・8・12月（各月2回）

【対 象】 家族コース障害のある小学1年～6年生とその家族

＜障害者団体乗馬体験会＞

【開催日】 申込団体と調整

<障害児乗馬出張訪問>

【開催日】 申込団体と調整

④ 馬に関するイベントの誘致

障害者乗馬・馬術等、馬に関する認識を広めるとともに、ポニーランドの認知を高め利用促進を図ることを目的に、区内はもとより国内に発信できるイベントを誘致し開催します。

【会 場】 篠崎ポニーランド

⑤ 装蹄師のおはなし

普段見ることのできない装蹄・削蹄の現場を見学し、装蹄師による馬の解説を行います。

【開催日】 年1回 【会 場】 なぎさポニーランド

⑥ 動物出張授業

<小学校出張授業>

小学校1・2年生の生活科授業へ出張し、馬を介し、動物への理解を深め、生命の大切さや思いやりの心を育てる学び・ふれあい・乗馬の機会を提供します

【開催日】 随時 【対 象】 区内小学校（30校程度予定）

<特別支援学校へ出張事業>

都立鹿本学園へのポニーのふれあい出張を行い、馬とのふれあいを通じて動物への興味や関心・動物愛護の精神と豊かな心情を育む機会を提供します。

【開催日】 12月 第一火曜日・木曜日(予定)2日間 【対 象】 全校児童、生徒

2) 啓発イベントの開催

【自然動物園】

① フンコロジー “フンで花を咲かせよう”

草食獣の反芻(はんすう)の仕組み、自然界での栄養循環をわかりやすく解説します。

【開催日】 4月（1回）

② 愛鳥週間イベント

飼育係・獣医師により、身近な野鳥に関するパネル展示や鳴き声クイズなどを行い自然環境についても考えていただけるような企画を実施します。

【開催日】 5月（1回）

③ 動物愛護週間イベント

飼育係・獣医師によるお話しを通じて、動物との共存の大切さなどの理解を深めていただく内容のイベントを行います。

【開催日】 9月

3) 利用促進・PR業務

動物たちの飼育情報やイベント情報をホームページや区広報を活用し広くお知らせします。また、ウェブサイトを充実し、各施設の魅力をタイムリーに発信していきます。

4) 研修支援・人材育成（飼育実習生等の受け入れ）

飼育員を目指す学生たちに自然動物園やポニーランドでの実習を通して、知識や技術だけではなく、組織人・企業人としてのマナー、コミュニケーション等も体験できるよう実施します。

【自然動物園、ポニーランド】

① 実習生・研修生の受け入れ

学校教育の一環として実施される各種動物の飼育または診療業務の実習を大学などの要請により受け入れます。

【開催日】 随時

【対 象】 高校生・専門学校生・大学生

② 職場体験・チャレンジ・ザ・ドリームの受け入れ

区内外の職場体験事業に積極的に協力し、動物飼育業務の実体験プログラムを実施します。

【開催日】 随時

【対 象】 小学生・中学生

③ 学習職場訪問の受け入れ

社会科・生活科学学習などの一環として、飼育施設の説明や飼育の仕方などの動物飼育職場のお話しを、学年に合わせた内容で実施します。

【開催日】 随時

【対 象】 小学生・中学生・高校生

④ 篠崎中学校チャレンジクラス（不登校生徒の受け入れ）

【開催日】 （週1回程度） 【内 容】 篠崎ポニーランドのお手伝い

II 収益事業

1 サービス事業収益 【収益 9,491 千円 費用 5,369 千円】（利益見込額 4,122 千円）

事業運営によって得られた収益は、公益目的事業会計に繰り入れ、事業等を通じて区民に還元します。

（1）物品販売サービス

えどがわ百景カレンダー（600 円）、動物カレンダー（壁掛け 500 円、卓上 500 円）、缶バッジ、エコバッグ、ミニタオル、蹄鉄、草花や苗木などの物品を販売します。

（2）広告収入

ホームページバナー広告料月 3,000 円等の広告協賛収入事業を実施します。